

途上国森づくり事業（新規）

【平成22年度予算額 85,000(0)千円】

事業のポイント

NGO等による海外森林保全活動や、アジア・アフリカでの難民キャンプ周辺の荒廃した森林等の復旧・保全を支援するための情報整備や人材育成研修を行います。

（事業の背景等）

- ・ 最近、森林による炭素吸収・蓄積や生物多様性の保全の役割が評価され、CDM等を活用しつつ、海外の森林保全活動を実施すること等につき、関心を持つNGO等が増加しており、これを具体的な海外植林活動に結び付けていくことが課題となっている。一方、アフリカなどの難民キャンプ周辺では、森林の急激な減少・劣化がみられ、これが放置された状態となっており、その森林の保全・復旧の取組みを通じた持続可能な開発への一層の貢献が期待されている。
- ・ このため、多様な主体の参加を推進しつつ途上国における森づくりを推進する観点から、森林保全活動の事例の調査、情報整備・分析、活動支援を行い、得られた成果を広く発信するとともに、難民キャンプ周辺の荒廃森林の復旧再生等に取り組む。

政策目標

事業対象国の持続可能な森林経営に同事業がどれだけ寄与したかについて最高度の評価を獲得。

（4段階評価のアンケート調査を実施し、事業対象国から最高点の評価値を得る。）

< 内容 >

1．海外森林保全参加支援

森林分野の国際協力活動候補地に係る情報整備、途上国における森林保全活動事例の収集・分析、情報共有のためのワークショップ等の開催を行います。

2．貧困削減のための森づくり支援

難民キャンプ周辺で持続的な森林の利用を図るため、難民キャンプ周辺の荒廃森林の復旧再生、難民キャンプ周辺の森林の実態把握及び技術指針の作成を行います。

< 補助率 >

定額

< 事業実施主体 >

民間団体

< 事業実施期間 >

平成22年度～26年度（5年間）

[担当課：林野庁計画課]